

▼寄付実績▼ 平成25年4月から10月末までにいただいた寄付の件数、金額をお知らせします。

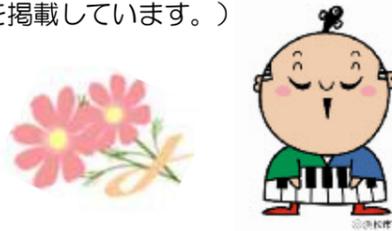
- ★寄付件数：3件
- ★寄付額：66,055円（運用利子収入含む）
- ★寄付者（寄付受付順。お名前の公表に同意をいただいた方のみを掲載しています。）

（希望寄付）

- 希望団体：特定非営利活動法人浜松緑のカーテン応援団  
有限会社コスモグリーン庭好 様

（一般寄付）

- いなさ湖フィッシング倶楽部（宮分隆成 様）



ご支援ありがとうございました！！

★夢基金のPRをしてきました！！

9月14日（土）・15日（日）に浜名湖ガーデンパークにて開催されました、富士物産フェア“元気がでるまつり2013”にて夢基金のPRを行ってきました！

このフェアは、富士物産グループさんが「お客様への感謝、地域の活性化を目的」に開催しているもので、今年で29回目となります。

富士物産グループのCSR活動の一環として、「NPO法人の活動紹介・情報発信の場を提供したい」という申し出があり、それを受けた浜松市民協働サポートグループが出展者を募り、「NPO村」と題したPRブースが開設されました。

今回、浜松市民協働サポートグループの協力により、「はままつ夢基金」のPRブースも仲間入りさせていただく事ができました！



家康くんもサプライズ出演！！  
子ども達に大人気♪

★夢基金の気になる認知度・・・

はままつ夢基金は市民のみなさまからの寄付金のみで運営しています。

夢基金という制度の認知度がどれだけあるのか、NPOに寄付をしたいと思っている人はどれだけいるのか・・・。気になる事をアンケート調査しました。

結果、アンケートに答えてくれた人の7割が夢基金を知りませんでした・・・。

しかし、NPOに寄付をしたいと思う人は2割、機会があれば寄付したいと思う人は6割という結果も！

夢基金の仕組みが広く認知されれば、もっと寄付が集まりそうです。

市民協働・地域政策課では、今後も夢基金制度のPRをしてまいります。

みなさまもぜひ、夢基金のPRにご協力をお願いいたします。



はままつ夢基金についてのお問い合わせは—  
浜松市 市民部 市民協働・地域政策課  
☎ (053) 457-2094 まで

はままつ夢基金通信・第2号



～みなさまからの寄付でこんな事業ができました！！～

(H25.12月)発行：浜松市 市民協働・地域政策課

◆第4期登録団体の決定及び後期スタートアップサポート事業の採択について◆

平成25年9月17日（火）に開催されました、浜松市民協働推進委員会にて、団体支援補助事業第4期登録団体の審査及び（後期）スタートアップサポート事業提案事業審査を行いました。

委員会での審査の結果、団体支援補助事業の第4期登録団体は、『特定非営利活動法人縄文楽校』さんを、スタートアップサポート事業については、『特定非営利活動法人浜松スポーツプロジェクト』さんの実施する「未来の青年育成『フットサル塾』」事業を承認しました。

委員会での審査結果を踏まえ、市にて最終審査を行い、上記団体の登録及び事業の採択を決定しました。

2団体の今後の活躍にご期待ください！

委員のみなさまには、毎回活発なご議論をいただいておりますのじゃ。



▼委員会の様子



◆第4期登録団体をご紹介します◆

今回は、第4期登録団体として登録された『特定非営利活動法人縄文楽校』さんをご紹介します。

縄文学校さんは、「自然と人と物が調和した社会を目指し、自然環境を取り戻すことにより、人間性回復を図り、人々の豊かな心をはぐくむこと」を目的に活動している団体です。

夢基金を活用して、遠州灘沿岸へ広葉樹の混植・密植の植樹活動を行うために、80万円を目標に寄付を募集しています。

寄付が8万円分集まれば、幅4メートル、長さ25メートルの防潮森が作れるとのこと。

活動に賛同いただける場合は、『縄文楽校』さんを希望したご寄付をお願いいたします。

寄付者の方には、団体から実施活動の報告書や会報等が送付されます。（希望する場合）

『特定非営利活動法人縄文楽校』さんの活動をもっと知りたい方は—  
団体のホームページ：<http://joumonn.main.jp/> をご覧ください。



## ♪平成25年度（前期）スタートアップサポート事業が完了しました♪



### ◎事業開催のきっかけ

いじめ、非行、児童虐待、育児放棄など子どもに関わる問題は、家庭環境を由来とする事案が大半だと思われます。核家族化している現代では、親のみが子どもの環境に責任を負わざるを得ず、地域を含めた多くの人で子どもを見守り、支え合う必要性が叫ばれています。そこで、子育てのための家庭環境を整備すること、地域としての子育て環境を整備することを目的とした事業を開催しました。

平成25年度（前期）スタートアップサポート事業として採択を受けたのは、『市民活動団体グリーンハート』さんが実施する、男女共同参画子育て支援事業「みんなでわいわいキャラ弁キャラバン（キャラキャラ）交流会」です。

4月から9月までの間に2回、市内の協働センターの料理教室を利用し、講師を招いたキャラ弁づくりの講習及び調理実習を行ったとの報告がありましたので、ご紹介します。



### ◎参加者募集の際に工夫したことは—

まず募集チラシについて、キャラ弁教室の案内ということで、女性から見て「参加してみたい!」と思わせるものになるよう、広告デザインを勉強する学生にデザインを依頼しました。外部に依頼することで、情報の拡散も企図しました。作成したチラシは、お母さんの目に情報が触れるよう、事業を実施する協働センターや近隣にある幼稚園に直接出向き、配布依頼をしました。

その他、インターネット上での情報拡散を目指し、ホームページを作成。告知とともにWebから

### ▼ホームページ



交流会のチラシ  
夢基金助成事業である事を記載したり、浜松市からの後援を取得したり、参加することへの安心感を伝えています。

手軽に申し込みができるようにすることや、フェイスブックでの情報公開・拡散も試みました。また、市内の子育て女性が多く利用している「はままつ子育てネットワークぴっぴ」サイトや「はまそブログ」に募集告知を掲載しました。

### ◎展示会への出展やイベント等への参加も・・・

2回目の交流会実施告知期間中に、富士物産展という数千人の方が集まる展示会がありました。告知ブースがいたので、写真や掲示物を使って事業を紹介し、チラシの配布を行いました。

また、各メンバーが様々なイベントや講演会等に参加し、直接人に会い、参加を促すことで、チラシやWeb告知の効果を高めました。

### ◎当日の様子



「作りたいのはみんなの笑顔^^」をテーマに、参加者が「楽しくなる」「笑顔になる」ことや教室を通じて子育て世代が集う場所となることを目指しました。5~6人を1組とし、参加者同士が作業をしながら会話のしやすい環境で教室を進めました。掲示物や名前プレートも用意し、明るく和やかな雰囲気を作る工夫をしたり、作るキャラクターを多くの方に親しまれるアニメキャラクターから選んだりし、子どもから大人まで喜べる内容にしました。



特別栽培米  
「やら米か」



レシピは普段のお弁当に活用でき「楽しく」「笑顔に」なってもらえるよう、よくある材料を使い、実用的で簡単なものにしました。

お弁当の要には特別栽培米「やら米か」や浜名湖産の「のり」を用い、地元食材のPRも行いました。



家族で楽しめることを目指して、親子での参加を受け付けたため、2回目からは参加できない幼児や飽きてしまった子どものための託児ボランティアを配置しました。ボランティアは保育士や幼稚園教諭を目指す学生に依頼しました。男性の参加も得ることができ、事業の成果をより深めることができました。

できあがったお弁当を囲んでの交流会では、参加者がひとつのテーブルを囲む形態を取り、一体感を演出しました。子どものこと、子育てのこと、家庭のこと、お弁当のこと・・・会話を通じて参加者同士の交流が深まりました。

### ◎今後の展開

「またキャラ弁教室に参加したい!」という意見が多いため、楽しめて、交流できる場所として、このような事業の必要性を実感しています。今後も同様の事業を継続させていきたいと思ひます。また、新たな要望をくみ入れて、子育ての環境整備（家庭・地域）に資する活動を発展させていきたいです。

☆☆☆☆☆☆☆☆ 事業内容は、市ホームページからもご覧いただけます。 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>

浜松市ホームページトップ → 暮らし手続き → 市民活動 → 市民協働について → はままつ夢基金

## ♪（後期）スタートアップサポート事業・採択事業をご紹介します♪

平成25年度（後期）スタートアップサポート事業として採択を受けた『特定非営利活動法人浜松スポーツプロジェクト』さんをご紹介します。

設立は今年6月。「浜松の地域を活性化すべく、地元で活躍するスポーツチーム、選手を市民のみならずとつなげる橋渡しをし、講義やイベントを実施すること」を目的として活動しています。

これまでの実績として、浜松アリーナ主催のスポーツ塾に協力し、指導者としてアグレミーナ浜松の選手の派遣を行っています。

今回採択された「未来の青年育成『フットサル塾』」開催事業は、市内の幼稚園・保育園・小学校にトップリーグの選手を派遣し、子ども達と触れ合いながら、スポーツの魅力や取り組みなどを教えていくというものです。

この事業を通じて、浜松にプロのフットサルチームが存在し、活動しているということを市民のみなさんに知っていただくとともに、選手と市民の一体感を醸成し、浜松を愛する気持ちを高めていきたいとのことです。

活動内容等の報告は、市ホームページや夢基金通信にて行います。

お楽しみに!

